



the most beautiful
villages
in japan

本町は「日本でもっとも美しい村」連合に加盟しています。



広 報

平成23年 (2011年)

きかい

7

No.529



あいにくの雨にかさをさして行列



チビッコがリードした六調



いっぱいとれた! (おかし手づかみ大会)



この日一番の歓声! チビッコフラダンス



焼きたての和牛焼き肉いかがっさか!



ワクワクドキドキのお楽しみ抽選会

表紙説明

6月最終土曜日恒例のしま興し祭りの様子。
台風5号接近によるあいにくの風と雨の中、
それでも多くの人たちが、講演や各種ステージ、
展示物、イベントなどを楽しんでいた。

CONTENTS

第8回しま興し祭り.....	P2
シマの話題その1(新設学校名決定 他) ...	P3
町職員募集のお知らせ.....	P4
教委のとびら.....	P7
シマの話題その2(農業青年クラブ総会 他) ...	P8
すこやかニュース.....	P12
おいしい たのしい 喜界島	P13
母校訪問 一第4回・荒木小一	P16

第8回しま興し祭り

産業・文化・健康で活力ある島をつくろう！

島の産業・文化・健康福祉の祭典、第8回しま興し祭りが6月25日、自然休養村管理センターであった。

式典では、商工部門や福祉部門などの各分野のしま興しに功績のあった個人24人の表彰があった。

また、主に関西地方のテレビやラジオの人気番組で活躍しているフリーアナウンサーの豊島美幸さんを迎えて、「自由に生きる」という題目で講演もあった。

この日は、台風接近で雨や風にたたられたが、会場内外では各種団体による舞台発表や展示、各種売店など多彩なイベントがあり、家族連れなど多くの人出でにぎわった。



父親が阿伝出身という豊島さんは、初めて訪れた喜界島に感激。講演では表情豊かに身振り手振りで「何事もプラス思考で肯定的に物事を考えることで、仕事や人間関係が楽になり、人生を楽しめるようになる」と熱弁した。



地方自治部門6人、産業部門6人、社会福祉部門7人、教育部門5人の計24人が、それぞれの分野で「しま興し」への功績が認められて、加藤啓雄町長から表彰状が手渡された。

「今のシマがあるのは、皆さんのおかげです」



健康相談や脳年齢テスト、体脂肪測定には一喜一憂。他にも介護相談や栄養相談もあった



文化協会からの大正琴やエイサー、日本舞踊、島唄など、多彩なステージで盛り上がった

しま興し祭りスナップ集



ロビーは所狭しと各種団体の展示



荒木民俗芸能保存会による昔の遊び



注目！すべて発泡スチロール製の「奄美の海」(豊吉男さん製作)



強風でテントは張れないまま…



管理センター周囲に多くの出店があった



情熱的なフラメンコで観衆を魅了

ミマの話題

その1

新設小中学校・幼稚園の名称決まる

平成23年6月議会で承認

平成23年第2回町議会の最終本会議があった6月17日、来年4月に開校する新設小中学校と幼稚園の名称を決める議案が可決された。

最終本会議では、外内千里総務文教常任委員長が、同月10日の同委員会に付託された当該議案（原案）について「原案にある名称案は、町内外から応募があった923点の中から、学校やPTA関係者で組織する再編準備委員会に議論して選定された結果であり、尊重すべき。議会で可決すべきと決定した」と報告した。

その後、乾和夫議員と安岡欽眞議員の連名で、原案にある現在の湾小中学校に設置する小学校の名称についての修正案が提出された。

乾議員は修正案について「本町は、湾方（村）と早町方（村）に分かれていた歴史がある（明治19年から同41年まで）。早町小の名称が残るならば、湾小の名称も残すべき」などと主旨を説明した。

また、原案への賛成討論として里村忠弘議員が、修正案への賛成

討論として安岡議員が、それぞれ発言した。

討論後、両案は起立採決に委ねられ、修正案賛成4人に対して原案賛成8人となり、原案どおり可決された。

決定した新設小中学校(園)の名称

「あゆみ幼稚園」（上嘉鉄小に設置。湾、荒木、上嘉鉄、滝川（休園）、坂嶺（休園）の5園を統合）

「のぞみ幼稚園」（志戸桶小に設置。早町、志戸桶、小野津、阿伝（休園）の4園を統合）

「喜界小学校」（湾小中学校に設置。湾、荒木、上嘉鉄、滝川、坂嶺の5校を統合）

「早町小学校」（早町中学校に設置。早町、志戸桶、小野津、阿伝の4校を統合）

「喜界中学校」（第一中学校に設置。3中学校を統合）

口と体の

関わりについて学ぶ

— 林文仁歯科医師が講演 —



講演の様子（円内は林さん）

町地域包括支援センターは、役場コミュニティホールで6月9日、林歯科医院院長の林文仁さんを招いて講演会をした。演題は「40代からの介護予防〜口と全身の関わりについて〜」。

林さんは冒頭、「悩んでいた偏頭痛や肩こりが歯の治療をしてから気にならなくなった経験はないですか。そんな歯と口と体の関係を紹介して、皆さんの目からウロコを落としてみましょう」と切り出して、講演に入った。

講演の主な内容

◆ 大学医学部は6年間で身体全体を学ぶが、歯学部は同じ6年間で歯（口腔）だけを学ぶ。それ

だけ奥が深い。

◆ 死因の上位は、がん、脳血管疾患、心疾患の3大疾病で、その次は肺炎。お年寄りに限れば、飲食物などが誤って気管や肺に入ることによる肺炎が1位。しかし、歯や義歯（入れ歯）を正しくケアすれば、防ぐことに効果がある。

◆ かむことは非常に大切である。かみ合わせがずれると第二頸椎もずれ、体のバランスがくずれ、かみ合わせを補正する器具を使用すると、筋力や視力が向上し、血圧も落ち着く。幼稚園児に噛む訓練をしたら、知能テストの成績も向上した。よく噛んで食べると満腹中枢が早く機能して食べ過ぎない。

◆ 歯（口腔）をケアすることで認知症予防や介護予防になる（介護予防とは、要介護状態を予防する取り組み）。

◆ 8020を達成すると医療費が安くなり、入院したときも退院が早い（8020とは、80歳で自分の歯を20本以上を保持すること）。

◆ 脳梗塞で左半身が麻痺し、10年以上も寝返りが打てない完全寝たきりの状態で、呼びかけにも反応せず、主治医が救命不能と判定した70歳男性が、上下総義歯を装着後、2週間で座れるようになり、

1ヶ月で介助なく食事や排泄が可能になり、1ヶ月半で介助なく車イスへの移乗やつえを用いての歩行が可能になった事例などを、写真や映像で紹介（他にも同様の2事例を紹介）。

◆ 義歯は就寝中も着用（かむ筋肉を短くさせない。歯ざりり防止）。最後に林さんは、定期的な歯科健診の重要性を訴え、「歯（義歯）に少しでもおかしいところがあれば、すぐに歯科医のアドバイスを受けるべき」と呼びかけた。

かむことの主な効用

歯やアゴの成長を促進する（顔付きが美くなる）／口の中の自浄作用を促進する（虫歯・歯周病予防）／筋肉が正常に作用する（姿勢がよくなる）／頭の血流をよくする（ボケ防止）／脳を刺激し発育を促進する（頭のよい子になる）／神経を刺激する（心が安定して情緒が豊になる）／食べ物がよく破砕できる（消化を助け、本来の味が分かる）

町職員募集

平成23年度 喜界町職員採用候補者試験を次のとおり行います。

- ◇試験名 初級（高校卒業程度）
- ◇試験区分 一般事務A
一般事務B（建築・土木の専門的知識を有する者）
一般事務C（埋蔵文化財の専門的知識を有する者）
幼稚園教諭（有資格者）
- ◇採用人員 一般事務A 若干名
一般事務B 若干名
一般事務C 若干名
幼稚園教諭 1名



◇受験資格

一般事務A

昭和59年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた者で高等学校以上を卒業した者（平成24年3月卒業見込みの者を含む）

一般事務B

昭和56年4月2日以降に生まれた者で大学または専門学校において土木または建築に関する分野を履修し、卒業または平成24年3月卒業見込みの者

一般事務C

昭和46年4月2日以降に生まれた者で大学において考古学または歴史学を専攻し、卒業または平成24年3月卒業見込みの者で発掘調査の経験がある者

幼稚園教諭

昭和56年4月2日以降に生まれた者で幼稚園教諭普通免許状を有する者、または平成24年3月までに当該免許を取得できる者

◇第1次試験日時・会場

平成23年9月18日（日） 役場コミュニティセンター

◇申し込み受け期間

平成23年8月1日（月）～8月19日（金）

※郵送の場合は当日消印有効

◇問い合わせ先 役場総務課（65-1111）

「社会を明るくする運動」
は地域みんなの運動

「社会を明るくする運動」は犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする法務省主催の全国的な運動です。

●期間

平成23年7月1日～31日まで

●重点事項

「立ち直りを支える取組についての理解促進」

「犯罪や非行をした人たちの就労・住居等の生活基盤づくり」

●行動目標

① 犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう

② 犯罪や非行に陥らないよう地域社会で支えよう

③ これらの点について、地域社会の理解が得られるよう協力しよう

犯罪のない、明るい地域を私たちの手で作り上げていきたいと思います。

喜界町保護司会

会長 重野 泰介

【有料広告】



台風 シーズン到来！

おすまいの
ペンキは
剥がれて
いませんか？



おすまいの
屋根の雨漏れは
大丈夫ですか？



工事のお見積り・調査は無料です
お気軽にご相談ください。
まずはお電話・FAXで



有限会社

ゆたか建装

喜界町赤連2966-12

TEL 0997-65-1333

FAX 0997-65-0007



一級建築塗装技能士・一級防水技能士の店

中里集落の皆さんへお願い！

【有料広告】

中里まりろう会会長

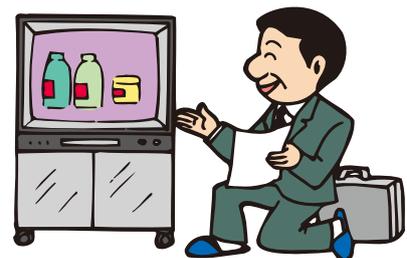
今年の7月24日から、テレビの電波が地上デジタル方式になり、いままでのアナログ方式では、テレビを見ることができなくなります。7月24日以降もテレビを見るためには、新しく地上デジタル対応テレビに替えるか、今まで使っているテレビに「地デジチューナー」を接続しなければなりません。

※ここで、中里集落の皆さんに「2つの」お願いです！

① 地デジチューナーは、町民税の非課税世帯（ほとんどがお年寄り世帯）には、国から無償で送られますので、「まだ国にチューナーを申請してない」「申請の方法がわからない」というお年寄は（もしくは、身の回りに、そのようなお年寄りがいたら）、下記までご連絡ください。中里の民生委員・まりろう会が、申請のお手伝いをします。

② 「チューナーがあるけど、テレビに付ける方法が分からない」というお年寄は、下記までご連絡ください。まりろう会のメンバーが、お年寄り宅を訪問して、チューナーを接続します。

よろしくお願いします。



・中里集落区長：野間昭夫（65-1381）

・中里集落民生委員：福島正子（65-0089）、松村千佐子（65-1321）

※生活保護世帯や障害者世帯などは、国が接続済みです。

喜界島の方言を残そう…⑤

重野裕美（広島大学大学院研究員）

私は、奄美大島の龍郷町浦集落出身です。高校卒業までの18年間、島で育ちながら、方言を話すことはもちろんのこと、聞き取ることもできませんでした。島を出ると、方言だけではなく文化や島の人口すら知らない自分に気づかされます。

現在は、方言の中でも特に難しいと言われる「敬い言葉（敬語）」をテーマに、奄美大島を中心としながら奄美諸島全域の共通点と相違点を整理しております。喜界島の方々のご協力のおかげで、喜界島の敬い言葉は「奄美大島との類似点が多いが、徳之島と丁寧語がよく似ている」ことが明らかになってまいりました。例えば「分かりました」の方言は、奄美大島「ワカリヨータ」、喜界島「ワカレータ」、徳之島「ワカレティ」、沖永良部島「ワカヤブタン」と論島「ワカヤビタン」となり、奄美大島の「(リ)ヨ」に対して、喜界島と徳之島は「レ」がそれぞれ丁寧語に相当する音であることが分かります。

方言を調べると、地理的な距離とは別の地域的なつながりが見えてくるため、とても興味深いのです。敬い言葉の使い方を調べていくと、目上の方々に敬う心や気遣う姿勢が浮き彫りになってきます。方言という言葉の「形（型）」だけではなく、このように人を思いやる「心」の両方を受け継いでいかなければならぬことの大切さに気づかされます。これからも方言を通して、島の文化や精神を学び続けたいと思います。



坂嶺での方言調査の様子

喜界島の方言を残そう…⑥

儀利古幹雄（国立国語研究所）
平山真奈美（立命館大学）

喜界島に調査団の一員としてお邪魔した時からはや9ヶ月、暑い中暖かく迎えてくださったのが思い出されます。

調査団の多くのメンバーと違って、私たちは言葉の研究者ではあるものの、今回をきっかけに喜界島のことを勉強し始めた喜界島初心者で、お邪魔してみても実に多くのことを学び考えました。

島ユミタの記録が今回お邪魔した理由ですが、その中でも私達は、発音のメロディー（儀利古）と伝統的な語彙（平山）について、小野津、阿伝、志戸桶、塩道、上嘉鉄、湾、中里、荒木と（訪問順）、計8地区も言葉の教わりました。

何せ初心者で、特に最初の頃は聞き取りが難しかったのですが（何度か聞き返す私たちに辛抱強くお付き合い下さり感謝です）、それと同時に、出てくることばにゾクゾクと興奮しました。例えば「めーらび」という

語は、その音調も語形も標準日本語にはないものです。

また私たちと重野裕美さんは喜界高校を訪ね、調査団の中でも特別に島の若い方にお会いする機会に恵まれました。私たちが三者三様の道のりを話すのを高校生の方々がじっと聞いておられたのが思い出されます。皆様にお会いして印象深かったことの一つは、島への愛着の深さです。島の方言を残したいという熱意を感じ、また島を出ても将来戻る方が多いと伺いました。清々しい時間をありがとうございました。



阿伝での方言調査の様子

喜界町明るい選挙推進協議会（明推協）の新委員決まる

喜界町明るい選挙推進協議会の委員がこのほど、新しく選任され、同協議会の総会で喜界町選挙管理委員会（今井守夫委員長）から辞令の交付がありました。

明るい選挙推進協議会は、きれいな選挙の実現と選挙に対する住民意識の高揚を図ることを目的に活動しており、委員17名（長寿連、地婦連、青連協、学識経験者、選管委員）で構成されています。新委員の任期は、平成23年4月1日から平成27年3月31日までの4年間です。

明推協委員（兼任する選管委員は除く）

氏名	区分	氏名	区分
開悦夫	長寿連	中村寛江	地婦連
上原慶三郎	長寿連	作井義次郎	学識経験
武藤安子	長寿連	藤原輝夫	学識経験
碓山千恵子	地婦連	福岡功彦	学識経験
麓真利子	地婦連	廣清太	青連協
岸本はすみ	地婦連	福島悟	青連協
岩切園子	地婦連		

教育委員会のお知らせ

きかい100スポーツクラブが地区大会の切符を握る!

第38回大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会喜界町予選大会

6月5日(日)に荒木ムタグラウンドで第38回大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会喜界町予選大会(ソフトボール競技)を開催しました。

今年は大半の単位団がきかい100スポーツクラブに加入したこともあり、ソフトボール競技のみ予選大会となりました。

試合は2点リードを許したきかい100スポーツクラブが2回裏に一挙4点を取り、その後も毎回得点を重ね、志戸桶スポーツ少年団に12点差を付け圧勝しました。投打がかみ合い、熱戦を制したきかい100スポーツクラブが、7月23日に奄美市で開催される本大会へ出場いたします。



ライト方向へ流し打ちを決める志戸桶 SP の選手

第38回大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会喜界町予選大会(ソフトボール競技)試合結果

チーム	回	1	2	3	4	5	計
志戸桶SP	1	1	0	0	0	0	2
きかい100SC	0	4	8	2			14

「生きる力」と「学力向上」をテーマに講演会を開催!

喜界町総合家庭学級(平成23年度明るく家庭づくり実践講座)6月19日(日)に役場コミュニティホールで、幼・小・中学校の保護者及び教職員を対象に標記講演会を開催しました。



町内のPTA関係者90名が会場に詰めかけました。

講師は元鹿児島大学教育学部教授(現在太陽工業取締役)の小林平造氏で、「生きる力」の本物をもとめて「夢を育む子育てと学力向上」という演題で御講話いただきました。

小林平造氏は、ギャングエイジ(排他的な遊び仲間を求める児童期のことを指す)や子ども世界(子ども自治)の復活が今後の課題と述べ、子どもが育つ地域社会づくりが必要と提言。また、「学力世界第一位の「フィンランドの学力」にも触れ、その優秀性を支えている背景や日本との相違などについて

ご紹介いただきました。

スポーツ安全保険への加入について(お願い)

本町では、町体育施設、学校体育施設を利用する団体には、スポーツ安全保険への加入を義務づけています。

より楽しく、より安全で有意義なスポーツ活動をしていただくために、是非、スポーツ安全保険への加入をお願いいたします。詳細については、鹿児島銀行窓口にお申し込みいただけます。詳しくお問い合わせいたします。

ハマサンゴ等の町文化財指定を検討

第1回文化財保護審議会

今年度第1回目の町文化財保護審議会(上原慶三郎会長)が6月15日(水)中央公民館で開催され、町文化財の新規指定や歴史民俗資料館の展示方を協議した。

会議には上原会長はじめ開悦夫委員等5人全員が参加し、伊地知告委員から事前に提案されていた「阿伝の石垣群や絶滅危惧種と言われ本町で生息が確認されたダイトウグイス」

- 荒木海岸の岸辺から約10メートル沖の海中に現存するハマサンゴ
- 花良治集落の背後の百之台に通

する道路沿いにあるガジュマル群などについて、それらを町文化財指定することについての可否を協議した。

「約400年の樹齢で世界第二位、存在そのものが奇跡的」というハマサンゴについての東京大学調査チームの報告を紹介する伊地知委員の説明が委員らの高い関心を集めるなど、議論は活発に展開。提案された案件については、いずれもより詳細な資料をもとに次回(9月開催予定)の審議会で改めて協議することを決定した。

また、旧中央公民館2階の歴史民俗資料室の展示について「見学者にどのような順序で見せるかの動線計画をたてることが必要」との指摘もあった。



世界最大級のハマサンゴ(東大海洋研提供)

ミマの話題

その2

「何ができるか若手で話し合おう」農業青年クラブ総会



今年1年の取り組み方針を決定した

議事では、①昨年度活動報告および収支報告、②今年度活動計画および予算、③規約改正、④役員改選などが審議され、承認された。

新役員は次のとおり、

- 会長 益田 幸直（新）
- 副会長 若松 洋介（新）
- 書記・会計 杉俣紘二郎（再）
- 監事 松田 淳一（新）

新たに会長となった益田さんは「これからも島で何ができるか若手で話し合い、手探りしながら着実に色んな活動に取り組みたい。また、さらなる会員の拡大も図ろう」と訴えた。

この日は、県喜界事務所農業普及係の坂上浩海技術主幹による農業青年クラブ（4Hクラブ）の歴史や成り立ち、活動の取り組み方法についての講義もあった。

農業青年クラブ（4Hクラブ）とは？

農業に従事する青年間の自主的な情報交換や学習活動をおし、農業経営の合理化や農村生活の改善、さらには地域全体の農業振興に寄与するために組織された団体。

原型はアメリカで20世紀初頭に

組織され、日本には昭和23年にアメリカのクラブを参考に導入された。現在では、日本全国に2千以上のクラブが組織されている。「4Hクラブ」とも呼ばれ、4つのHとは腕（Hand）、頭（Head）、心（Heart）、健康（Health）の頭文字であり、これらのHを使って、冒頭の理念を「実践しよう」という意志を表している。

老人クラブ改め「長寿会」が第45回定期総会を開催

喜界町長寿会連合会（村上国信会長、会員1602人）は6月8日、自然休養村管理センターで第45回定期総会を開催した。なお、今年度から、県老人クラブのアンケート結果や全国的な傾向を踏まえ、従来の「老人クラブ」から「長寿会」と名称変更している。



多数の会員で会場が満杯となった定期総会

盟しているが、人情に厚く自然豊かな喜界島は、「世界で最も住みよい村」といえる。その本町の総合振興計画書には高齢者福祉の充実が明記されており有り難いが、われわれは今、いかにあるべきか問われている。健康増進や介護予防に努め、助け合いながら生きがいづくりをして、これからも元気にふるさとへの恩返しをしましう」と呼びかけた。

また、町長寿会から大倉光男さん、福島澄雄さんが、大島地区老協から開悦夫さんが、県老人クラブから久野一馬さんが、それぞれ感謝状や功労賞を受けた。

協議は、平成22年度事業報告と決算報告、監査報告や平成23年度事業計画と予算案が提出され、いずれも審議の結果、了承された。あわせて、ゲートボール協会関係分も同様に審議され、了承された。

最後に、「社会貢献」「健康・友愛・奉仕」「独居老人の在宅福祉増進や老人福祉施設の充実要望」の3項目を柱とした決議文を全員で朗読して定期総会を終えた。

終了後は、元聖徳大学教授の喜久秀人氏による「日本人と日本文化―日本のすばらしさを思う―」と題しての講話や大正琴や日本舞踊、島唄など、多くの団体が参加したアトラクションもあった。

濱尾さんら、ダイトウグイスなどの巣の捕食者を特定

喜界島のダイトウグイスを調査していた濱尾二さん（国立博物館）らは、鳥の巣の捕食についての調査結果を日本鳥学会誌の論文にまとめた。調査は、一昨年の5月から6月にかけて、喜界島で行われた（本誌平成21年7月号に調査の様子を掲載）。

論文は濱尾さんの他、帝京科学大学動物生態学・行動学研究室の坂上舞さん・森貴久さんとの共同で著した。

調査は、カメラを取り付けた鳥の擬巢に市販のウズラの卵を2個入れ、メジロの巣を想定して森林、同じくウグイスでヤブ、同じくセツカで草原に、各30個を設置。訪れた捕食者を撮影した。

結果は、ヤブや草原においてイタチだけでなく、クマネズミも人家を離れて野生動物の生息域に進出し、鳥の巣を荒らしていた。さらに森林は、これらの移入哺乳動物だけでなくカラスも加わっており、メジロは巣を荒らされるケースが、より多いことが推測された。特に、クマネズミは3つの環境すべてに広範囲に生息しており、「島の野鳥に影響を及ぼす可能性が注目される」としている。（※同論文は町図書館で閲覧できます）

荒木小児童ら先輩に八月踊りを学ぶ

総合的な学習の時間を利用

荒木小学校（佐藤伸一郎校長）の3・4年生児童7人は6月20日、同校の卒業生で荒木集落の歴史や民俗に詳しい光岡力さんを迎えて、総合的な学習の時間で調べた「八月踊り」についての中間発表会をした。

児童らは、「八月踊りが長く続いてきたのはなぜだろう」、「集落の人はどうして八月踊りを踊るのだろう」の素朴な疑問を調べるグループに分かれて発表した。

八月踊りが保存されてきた理由を調べたグループは、一年生や保護者、祖父母に行ったアンケート結果をもとに「一年生はあまり好きではないが、お父さんお母さん



最後はみんなで八月踊り

など年を取るごとに好きな人が増える。特に、おじいさんやおばあさんは、お祭りなどで踊ることを楽しみにしている」などと発表。

八月踊りを踊る理由を調べたグループは、家族や集落の人に行ったインタビューを紹介しながら「昔は、あまり子どもは踊らず、お祝いの時や旧暦八月十五日と九月十九日のお祭りなど、節目の時に着物や背広を着て踊っていた」と発表した。

児童らの発表を聞いた光岡さんは「集落に伝わる八月踊りを調べてくれたことを嬉しく思います。調査結果も正しいです。付け加えるなら、昔はテレビや遊ぶ道具、食べ物も少なく苦しい時代でしたが、祭りの時だけは、ごちそうを食べてみんなで楽しく八月踊りを踊った。輪になって心をひとつにして踊ることで幸せを感じていました。だからお年寄りは、八月踊りを楽しみにしているのだと思います」と講評した。

最後は、チヂンの音に合わせてながら全員で八月踊りを踊って中間発表会を終えた。

発表した久保幸作くん（4年）は「踊るのはあまり好きじゃな

かったけど、荒木に伝わる大切な踊りと分かった。これからも、たくさんある色んな八月踊りを調べたい」と感想を話した。

（報告・若山深志教頭）

「みんなで守ろう島の宝!!」文化芸能島唄発表会を開催

喜界島芸能「島唄研究会」（富村チカ子会長）は6月10日、日本民謡協会喜界支部と安田民謡教室と共催で、文化芸能島唄発表会を中央公民館で開催した。

オープニングとして全出演者27人での「朝花節」「らんかん橋節」「喜界やよい島」で幕を開けた。

あいさつで島唄研究会の富村会長は「熟練者の他、初心者が人前で歌うことで、少しでも技量が向上すればと思い発表会を催した。



オープニングは全出演者27人で演奏



安田宝英さんも熟練の技を披露した

会員全員がんばっているの、皆さんの声援をよろしくお願いします」と述べた。

なお、今回は腹から声をだす訓練と生声をよりよく響かせるため、マイクを使わずに演奏された。ステージには小学生の初心者から数々の島唄大会で受賞歴のある熟練者まで多くの唄者が立ち、数少ない男性陣8人で構成する「男組」の演奏や主に大島南部で唄われる『国直米姉節』など、普段は見聞きできないステージも披露された。幕間にあつた黒田美奈子さんによるシマユミタの漫談?「は、観客の笑いを誘っていた。

また、安田宝英さん安田博樹さんの「祖父孫、競演や奄美民謡大賞受賞者の川畑さおりさんの演奏もあり、最初から最後まで島唄愛好者を楽しませていた。

最後は、上嘉鉄サンシン倶楽部による「八月踊り」と全員参加の『六調』で盛況のうちに幕を閉じた。

東日本大震災 義援金の状況 (2回目送金)

5月18日送金分
社協・役場窓口受付
島内各所設置義援金
合計
722,262円

多くの町民の皆さまや企業・団体からお預かりした貴重な義援金は、いったん取りまとめのうえ、右の金額を5月18日、日本赤十字社へ送金いたしました。引き続き、被災地への義援金のご協力を、よろしくお願ひします。



8月6日(土)

歩行者天国 (湾・赤連商店街)
相撲大会 (町相撲場)

8月7日(日)

ミコシ・綱引き、フネインカー競漕
漁船海上パレード (湾漁港)
婦人会踊り、八月踊り(スギラビーチ)
演芸ショー、花火大会



喜界町夏まつり協賛会では、喜界島の夏の風詩「喜界町夏まつり」
と一緒に参加していただけるボランティアスタッフを募集します。
蝶の飛び交う隆起サンゴ礁の島で、協賛会メンバーと共に祭りを
造り上げる感動」を体験してみませんか？

～お手伝いしていただく、主な仕事内容～

○交通整理

湾赤連商店街・スギラビーチ会場内の簡単な交通整理です。
※弁当・飲み物等は、協賛会で準備いたします。

応募資格 16歳以上の方
(ただし、高校生は保護者の承諾が必要です)

応募方法 役場企画課でお申し込みください

応募締切 平成23年7月22日(金)

～連絡先～

喜界町夏まつり協賛会事務局 (役場企画課内)

〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾 1746 番地
TEL: 0997-65-1111
FAX: 0997-65-4316
E-mail: kikaku-1@town.kikai.lg.jp



裁判員裁判の実施状況報告

平成21年5月21日のスタートから2年が経った『裁判員制度』。

平成22年12月までに1,648人の被告人に判決が言い渡されました。

今回は、これまでの裁判員裁判の実施状況をお知らせいたします。

どれくらいの人数が選ばれたの？

平成22年12月までに選任された裁判員数は9,511人、
補充裁判員数は3,413人でした。

何日くらい参加するの？



平成22年12月までに判決が言い渡された裁判員裁判の対象となった事件のうち、約7割の事件が4日以内で終了しました。

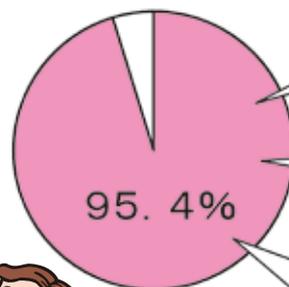


参加した感想は？

裁判員に選ばれる前



よい経験だった！



普段経験できない貴重な経験だった。

裁判や裁判所が身近に考えられるようになった。

社会のことを考えるきっかけになった。

裁判員を経験して…



裁判員制度ウェブサイト (<http://www.saibanin.courts.go.jp/>) では、裁判員を経験された方々へのアンケートの結果や、裁判員を経験された方々の声、裁判員制度の運用状況に関する統計データがさらに詳しく掲載されています。是非そちらもご覧ください。

すこやか 二二コース

肺がん検診の結果について

肺がん検診の結果が届きました。精密検査が必要な方には、個別に通知をしますが、異状がなかった方には、個別通知をしませんので、ご了承ください。

今回精密検査が必要と判定された方は、ぜひ、早めに医療機関を受診してください。また、今回異状がなかった方も、気になる症状があるようでしたら、医療機関を受診してください。

65歳以上で肺がん検診を未受診の方は、9月に結核検診がありますので、またお知らせします。

「けんしん」の夏!

今年も健診の季節がやってきます。7月25日～7月30日まで、役場コミュニティホールで厚生連健診を行います。特定健診・長寿健診のほかに、各種がん検診などと同時に受診できます。申し込みをいただいた方には、順次、受診票などをお届けします。申し込みをされていない方で受診希望の方は、すこやかセンター(65・3522)までお問い合わせください。たくさんの方が来てくださるのをお待ちしております。

特定健診を受けましょう♪

町が実施する特定健診は、40歳～75歳未満の国保加入の方を対象にしていますが、喜界町は、この特定健診の受診率が、なんと、鹿児島県内で最下位! (平成21年度) 国は、平成24年度の特定健診受診率の目標を65%に設定していて、この目標が達成されないと、皆さまの国民健康保険税が増額されてしまうかもしれません。「自分は元氣だから健診を受けなくていいや」と考えている方もいらっしゃると思いますが、自分が健診を受けることで、ほかの誰かの負担が増えてしまうかもしれないのです。自分のためには、もちろん「一人はみんなのために!」の意識をもって、ご家族・ご近所、みんなを声をかけあい、ぜひ、特定健診を受けに来てください。

平成22年度 特定健診受診率上位集落

	集落	受診率
1位	阿伝	80.0%
2位	山田 中間	50.0%
3位	羽里	47.2%



絵：酒井 拓人(阿伝小)

ちびっ子サポーター誕生 〜認知症サポーター養成事業〜

志戸桶小学校では、校区内にあるグループホーム「がじゅまる」(認知症の人達の為の老人ホーム)で交流学习を続けてきたが、この度、認知症について更に深く学ぶうと、3年生以上の児童29名が認知症サポーター養成講座を受講しました。

85歳以上になると4人のうち1人におこる可能性のある脳の病気なんだと知って「怖い病気」と感想を漏らしながらも、講座が終る頃には、「地域に認知症の人がいたら、優しく声をかけをして助けたい」となんと頼もしい感想を述べていました。認知症サポーターは、認知症に

ついて正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る、認知症の人たちの応援団です。

学校の他、婦人会、老人クラブ、集落など数十名単位でお申し込み頂ければ、講師を派遣致します。お問い合わせは、地域包括支援センターすこやかへ(65・3522)



熱症中を防ごう!

暑さが本格的になってきました。熱中症は室内でも多く発生、夜間でも注意が必要です。

症状は?

めまい、こむら返り、大量の汗、頭痛、吐き気、倦怠感、重症では意識低下など。

予防するには?

*こまめな水分補給
*暑さを避ける

・こまめな換気、クーラーや扇風機等で室温の上昇を避ける
・外出時は帽子や日傘等を使用する

*体力に自信があっても暑い所では無理をしない。

*高齢者・障害者・こどもは周囲が見守り、配慮を!

高齢者は感覚機能が低下しています。渴きを感じなくても水分摂取をしたり暑さを感じなくても室温の調整を心がけたりしましょう!

熱中症になった時には・

- ・涼しい場所へ避難
- ・衣服を脱がせ、体を冷やす
- ・水分・塩分(スポーツ飲料などで)の補給を。
- 自力で飲めない、意識がない場合は救急搬送。



旧暦5月5日、通年で

ヤチムッチー (カッパームッチー)



(1枚 800kcal)

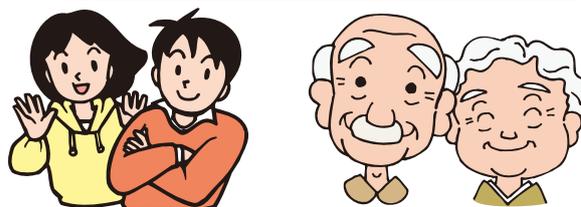
★材料 (4枚分)

- ◇小麦粉 …………… 100g
- ◇粉黒糖 …………… 80g
- ◇卵 …………… 1個
- ◇水 …………… 150cc
- ◇油 …………… 適量

※好みの分量に調整してください。

カアマグに伝えよう!
“シマジユウリ”

おいしいたのしい 喜界島



以前は旧暦5月5日の男児の節供につくり、ウヤフジに供えて、子の無事な成長を願いました。

簡単・手軽にできるため、手づくりおやつとして親子でつくってみてはいかがでしょうか。

今では、牛乳やもち米粉、はったい粉、ベーキングパウダー、重曹なども使い、いろいろなアレンジでつくられています。

もち米粉を使うと、「モチモチッ」とした食感が楽しめます。



①ボウルに卵をとき、粉黒糖と混ぜる、さらに水を50cc入れて混ぜ合わせる。

これを小麦粉の入ったボウルに移し、ダマにならないように混ぜ合わせる。

②残りの水は生地の様子をみながら加え、サラッとしたトロミ加減にする。

③フライパンを熱して油を引く。お玉一杯分の生地を真ん中から流すと、自然に広がる。フタをして中火で焼き、ブツブツができれば、

④裏返して10秒ほど焼く。

※表面に焼き色を付けるため、弱火にしない。

⑤焼きあがったらキッチンペーパーの上へのせ、手前からクルクルと巻く。

⑥巻き終わりを下にして少し置いて、食べやすい大きさに切り分ける。

なぜ「カッパームッチー」っていうの？

焼いた表面がカッパー（ニキビ跡・天然痘の跡）に似ることが由来ですが、島に残るカッパ伝説のひとつに「いたずらばかりするカッパに、ヤチムッチーをプレゼントした」というものがあり、「それ以来、カッパは人前に姿を現さなくなり、ヤチムッチーをカッパームッチーと呼ぶようになった」ともいわれています。

シマユミタではカッパを、「ガーロー」「ガワロー」「ガナオー」「ネーブイ」などと呼びます。



喜界歌壇

〈ミニミニ会〉

教え子と五十年目の邂逅は
額寄せ合いてただ黙すのみ

嶺倉 祝子

短歌のみち生涯歩んでいきましと
思い浮かべばことばをつぐむ

林 蓮香

居座りて畑打つ半畳耕して
心充たせり日課なりせば

有村 道子

水色のガラスの花器に薔薇挿せば
蝶が舞い来て夏の風呼ぶ

平尾 チヨ

島を訪う鳥のよき声我待てど
途絶えし鳥を呼ぶすべはなく

弥島 幸子

〈萌葉会〉
忘れたるパズル組み立て思い出す
可愛しき甥姪らの声ぞ聞こゆる

井澤紀美子

楽珍の落語をびあく涙じわ
妙菜なりて身心ほぐれむ

前田喜代美

天気予報みことはずれてうらめし
きあわてて取り込む洗たく物を

平島 初子

届けらる「ポケたくない本」母の
日に読み書き計算痴呆払はむ

豊島 瞳

車椅子なおもどかしく人込み
遠慮をしたり身の程知りて

美代 イシ

吾孫娘日待遠しき用を成し
心ゆる背に初心者マーク

島崎 久代

飾くれの指も柔らとなりにつけり
握る祖父の手滲む姿よ

徳 成寿



戸籍の窓

こんにちは

赤ちゃん

氏名 保護者 住所

福本 心・妙法子・伊砂

富田 凜・健太・赤連

輝 一慶・政和・湾

(結婚なし)



ごめい福を
お祈りします



住所 氏名 年齢

長 嶺・下島 ユキ・90才

中 熊・濱川 真・55才

赤 連・前田茂市郎・84才

嘉 鈍・石原 ヨシ・97才

上 嘉鉄・榮 昌枝・86才

中 間・佐野 ふみ・102才

湾 ・作 實助・73才

※先月号の勇榮さんの年齢は85才
です。お詫びして訂正します。

社協だより



■香典返し(敬称略)

中 里 服部美津代

中 里 下島 智

伊実久 仙原 一也

荒 木 勇 久子

嘉 鈍 石原 直

赤 連 前田タツネ

中 熊 濱川ますみ

上 嘉鉄 生田 勝孝

大阪市在住

豊島 克男

※先月号にあった屋妙子さ
んは香典返しではなく寄付
をされました。また、恵畑
よりさんの姓に誤りがあり
ました。お詫びして訂正し
ます。

喜界町の推計人口

(平成23年7月1日現在)

世帯数・・・3,620戸(1)

人口・・・8,092人(14)

男・・・3,873人(12)

女・・・4,219人(2)

()は前月比

今月のウヤフジ訓 ⑪

ナギタンムンヤ

(投げた物は)

ムドウルイ

(戻ってくる)

解説

「世のため人のために
尽くせば、いずれ自分が
報われる」という教え。
「情けは人のためなら
ず」、「陰徳あれば陽報あ
り(出典『淮南子』)」な
ど、日本古来のことわざ
や2千年以上前の中国の
思想書にある故事成語と
同様の教えを、ウヤフジ
は伝えている。

『税で創る、あかるい未来』
7月末日は、

固定資産税2期分

国民健康保険税2期分

の納付期限です。
納期内に必ず納めましょう。

クフズイモ (食わず芋)



インド原産でサトイモ科クフズイモ属の多年草。名前の由来は、タイモやツワブキに似るが食用にならないことから。ただ、莖や根には未熟なパイナップルなどに含まれる針状に結晶したシュウ酸カルシウムが多く含まれ、食べると口の中や食道を傷つけ、話すこともできなくなることから、「クエズイモ」「クウナイモ」と呼ぶべきか。熱処理しても危険。触れるだけで手がかぶれる場合もあり、シマユミタで「カヨサー(かゆい)」などと呼ばれる。

「Green Parasol (緑のカサ)」「Elephant Ear Plants (象の耳の植物)」の英名が示すとおり、葉は日傘や象の耳ほどの大きさになる。生長が早いため「出世芋」とも呼ばれる縁起物で、鉢植えの観葉植物として人気がある。

花言葉は「出世」「仲直り」「復縁」。

リュウキュウハンゲ (琉球半夏)

薩摩・大隅半島以南から沖縄、海外では東南アジアからインドに分布するサトイモ科リュウキュウハンゲ属の多年草。名前にあるハンゲとは、サトイモ科ハンゲ属のカラスビシャク(烏柄杓)の別名であり、これと似るため。とはいえ、その花はカラスビシャクとはあまり似ておらず、サトイモ科コンニャクイモ属の花と似ている。なお、半夏(ハンゲ)の本来の意味は、夏至から11日目に当たる日のこと(7月2日ごろ)。この時期にカラスビシャクの花が咲くので、昔はそれを目途に田植えを終わらせて、束の間の休息を取ったという。花言葉は不明。



コゴメマンネングサ (小米万年草)

九州南部以南に自生するベンケイソウ科マンネングサ属の多肉性の多年草。名前の由来は、肉厚の葉が米粒くらいの大きさであり、耐暑・耐寒性を持ち、葉や茎からも発根して旺盛な繁殖力を発揮し、いつまでも枯れることなくその場所にあり続けるように見えるため。乾燥して養分に乏しい土壌やサンゴの石垣でも丈夫に生育し、その範囲を広げる。



花の直径は5ミリほどだが、周囲を黄色く染めるほどに咲き乱れる。マンネングサ属の花言葉は「記憶」「私を思ってください」。



編集後記

広報誌の担当をして早4年目になるが、いまだに遅々として筆が進まない。そんな時、この編集後記でもよくネタにするが、やはりタバコに逃げてしまっ。

つまるところ、タバコがないと文章が書けないのだ。立派な中毒患者といえるが、開き直っていえば一服の精神安定剤なのである。

とはいえ、財布を直撃するタバコ増税、肩身の狭くなる嫌煙ムード、そして何より健康を害することを重々承知しているのに、今こそ禁煙しようと思う。いや、これまで何度か失敗しているので、もう「禁煙」はしない。

代わりに、「少し休むだけ」という数年たつ友人を見習って軽い気持ちで「休煙」しようか? いや、ここは断固として「脱煙・断煙・絶煙」すべきか? いやいや、意気込みすぎはかえって挫折しそうだ。あるいは「離煙」するか、それでは「復煙」があるかも? 「卒煙」が格好いいが、卒業後は「同窓会」での再会が付きものだし...

などと屁理屈をこね回しているも「廢煙」どころか「肺炎」が関の山だろう。こんな御託や言い訳を並べるヒマがあるならば、まずは「一服」して来月号に取りかかるか。

(植村)

母校訪問 おわいでは永遠に④

荒木小学校

校長：佐藤 伸一郎(第20代)、教職員11人、児童数31人



校庭にあるガジュマル「ウードゥシの木」は児童らを見守り続けている

学校概要

荒木小学校は明治19年、樺簡易科小学校荒木分校として設立。以後、湾尋常小学校荒木分校、や湾国民学校荒木分校などの改称をへて昭和23年、喜界町立荒木小学校となつて現在にいたる。本年は創立124周年。現在では「一集落一学校」の小規模校としての特徴を生かし、

〈先人訓〉
常に進路を求めて
止まざるは
荒木の子なり
〈合言葉〉
小さくても
キラッと光る学校

児童数等の推移

年度	児童数	学級数
昭和43	212	6
48	137	6
50	93	6
55	88	6
60	60	6
平成元	67	5
5	62	6
10	46	5
15	42	4
20	44	4



昭和30年代の様子（旧校舎が見える）

積極的に学校へ協力する保護者や地域住民と連携して地域に密着しながら、「八月踊り」や荒木集落伝統の「棒踊り」などの保存伝承、「荒木貝塚」や「ウリガー（降り井戸）」などの歴史教育、黒糖の名産地として島外にも聞こえ、生産量日本一の島ゴマの「発祥の地」とされる荒木（手久津久も同じく発祥とされる）の小学校として、校区内の実際の製糖工場での黒糖づくり体験やゴマ栽培などにも取り組んでいる。

学習面では、学力向上に不可欠な基礎学力である「読み・書き・計算」に重点を置き、句読点を意識しながら円滑に間違えずに音読する「完璧読み」、一日ひとつ以上の漢字を覚える学習（週一回、確認テストを実施）、学年毎に「たし算・ひき算・



本格的設備で「荒木ブランド」の黒糖づくり

かけ算」を目標時間内に正確に解く訓練などを、毎日反復して行っている。

児童らは、運動好きで人なつこく、気持ちのよいあいさつができ、校歌の一節「ぐん」と行こうよ青空へ」のとおり元氣いっぱいである。

低学年児童にも分かりやすい活力あふれる歌詞と、明

校歌

詞・曲 久保 けんお

- みどりの中のふる里に
元気な唄をひろめよう
いつも楽しい学び舎は
ほくらの荒木小学校
ぐんと行こうよ
ぐんと行こうよ 青空へ
- うなばら遠くそよぐ風
胸をひろげてすいこめば
夢もふくらむ僕たちだ
かがやく雲にとびのつて
ぐんと行こうよ
ぐんと行こうよ 青空へ
- じょうぶな体くじけない
つよい心をやしなつて
よんでこたえて腕くんで
がんばる荒木小学校
ぐんと行こうよ
ぐんと行こうよ 青空へ

るく一度聞けば耳から離れない軽快なメロディーで、他校卒業生にも人気がある校歌は、同校を卒業した音楽家で民謡・童歌研究者の故・久保けんお氏の手による。新設校の校歌に「歌詞や曲の一部だけでも残せないか」と希望する保護者や関係者は多いという。



地域住民からアラチユミタを学ぶ